



# 世界大恐竜展

なるほど！

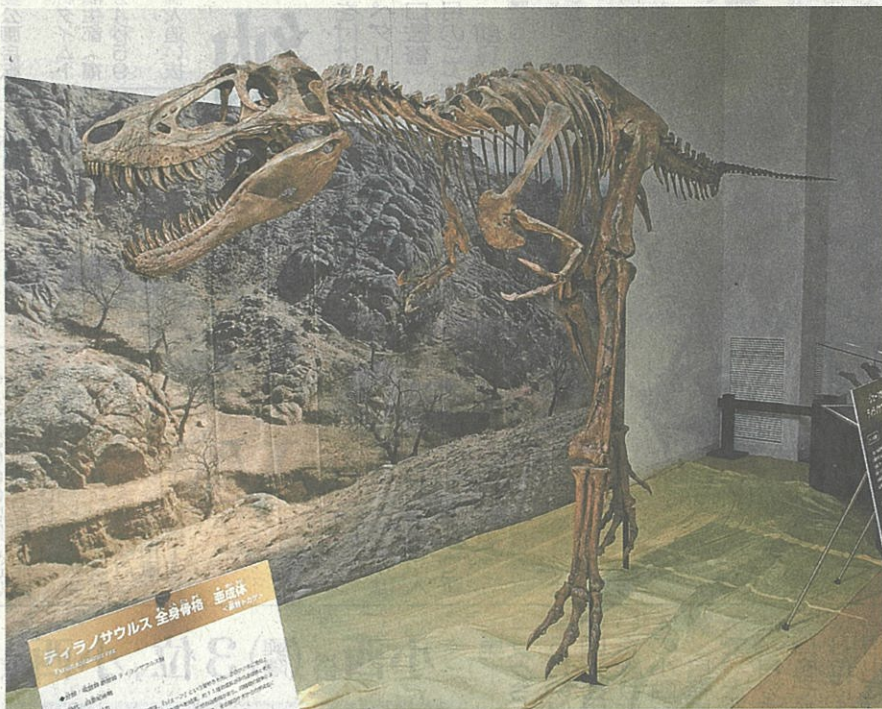
恐竜の骨を切ってその断面を顕微鏡で観察すると「成長停止線」という黒っぽい年輪状のすじが見える。それを数えることで年齢が推定できるといことが30年ほど前からわかってきた。かつては、貴重な化石骨を切るとは非常識極まりなかったが、今では恐竜研究の重要な手法になっている。

さて今回の恐竜展の目玉の一つは「ジェーン」というニックネームがついた恐竜である。この標本の骨も切断されて断面観察が行われ、年齢は11歳とわかっている。ジェーンはティラノサウルスの特徴を持ち、しかも成長途中の特徴があるので、ティラノサウルスの若い個体だという意見が有力である。最大級のティラノサウルスの骨からは28歳を示す成長停止線が見つかっている。これを最高齢とすればジェーンはまさに若者というわけである。

この調子で小型から大型までの骨のデータが集まれば、ティラノサウル

## ⑤ 「ジェーン」-若いティラノサウルス

### “未来を拓く”研究進む



成長途中の「ジェーン」。すらりと長い後ろ脚など「骨格のプロ」ポジションが大人とかなり異なる

ルスはどのように成長したのかがわかる。骨を掘ってきれいにして組み合わせる研究が進む。ジェーンの研究は新しい恐竜学の未来を拓くことだろう。

（石垣忍・岡山理科大教授）

＝ 随時掲載

「よみがえる地球の覇者！ 世界大恐竜展」（山陽新聞社など主催）は9月1日まで岡山市北区駅元町、岡山シティミュージアムで開催。8月5、19日休館。